

英語科 中学2年生

単元名 Unit5
「A Park or a Parking Area」
東京書籍「NEW HORIZON2」

単元の流れ（全9時間）

【第1次】主な学習内容

- ◇ 第1時 if節を用いた文構造・意味・用法を理解し、表現する。
- ◇ 第2時 that節を用いた文構造・意味・用法を理解し、簡単な会話を練習する。
- ◇ 第3、4時 when節を用いた文構造・意味・用法を理解し、表現する。新聞記事を読んで、内容を理解する。
- ◇ 第5、6時 because節を用いた文構造・意味・用法を理解し、表現する。投書の意見を読んで内容を理解する。

「活用」の力育成のために

イラストを使ったり、自然な場面設定することで、従属接続詞の使い方を理解させ、その定着を図る。(ポイント①)

【第2次】主な学習内容

- ◇ 第7時 身近な内容の新聞記事をグループごとに選び、英文でまとめ、その記事についての賛否を書く。
- ◇ 第8時 グループごとに、自分たちの考えを発表する。(本時)

「活用」の力育成のために

適切な資料を与えることにより、必然的に既習事項を活用して自分の考えを表現する機会を設定する。(ポイント③)

【第3次】主な学習内容

- ◇ 第9時 様々な従属接続詞などを確認する単元テストを解く。

CLICK

単元テストはこちら

HOME

本時の流れへ

評価問題

単元目標

- 従属接続詞を用いた言語活動に積極的に取り組む。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 従属接続詞を用いた言語活動の中で、自分の考えを伝えることができる。
(表現の能力)
- 新聞記事や投書などの英文を読み、その内容を理解することができる。
(理解の能力)
- 従属接続詞の運用における基本的な知識を身に付ける。
(言語や文化についての知識・理解)

単元構成の意図

従属接続詞を使うことで、表現できる内容が広がる。身近な内容の新聞記事を用いて賛否やその理由を書いて表現させるようにする。

「活用」の力を育てるポイント

- ① イラストを使ったり、自然な場面設定をしたりすることで、従属接続詞の使い方を理解させ、その定着を図る。
- ② 身近な内容をとらえ直し、相手意識をもって自分の考えを表現する場面を設定する。
- ③ 適切な資料を与えることにより、既習事項を必然的に活用して自分の考えを表現する機会を設定する。
- ④ 生徒にとって身近な話題を扱い、「事実を伝える」「意見を述べる」という言語活動を、グループで教え合いながら行い、表現する力を身に付けさせる。